

伝送請求 API ライブラリ
導入マニュアル

第 1.5 版

— 目次 —

1. 動作環境.....	1
2. インストール手順.....	2
3. アンインストール手順.....	8

1. 動作環境

伝送請求 API ライブラリの動作環境は、電子請求受付システムの動作環境に準じます。

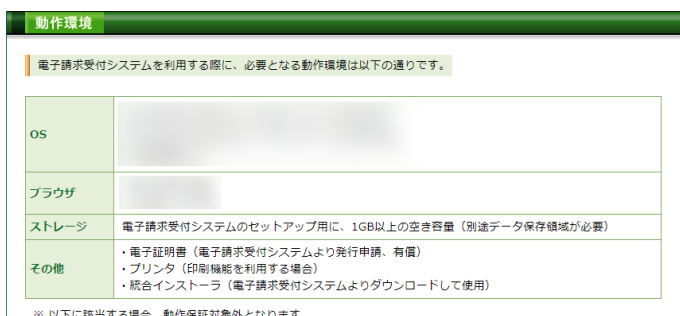
最新の動作環境は、以下の手順で確認することができます。



1. 電子請求受付システム [http://www.e-seikyuu.jp] へアクセスします。
【電子請求受付システム 総合窓口】画面が表示されるので、**介護保険の請求はこちら** をクリックします。



2. 《トップメニュー》より **動作環境** をクリックします。



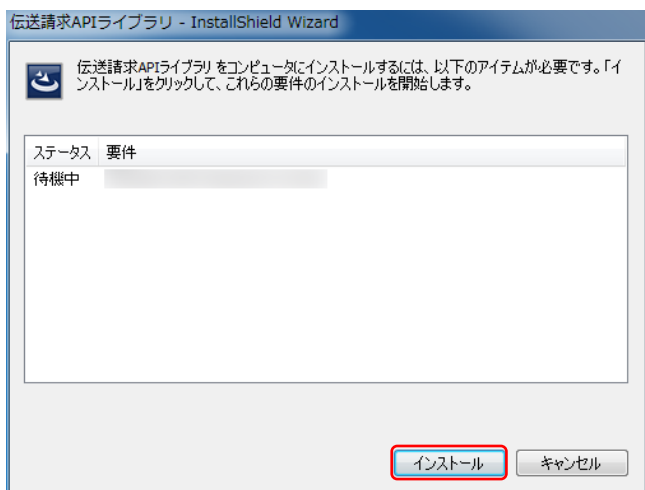
3. 【動作環境】画面が新しい画面で表示されます。



2. インストール手順



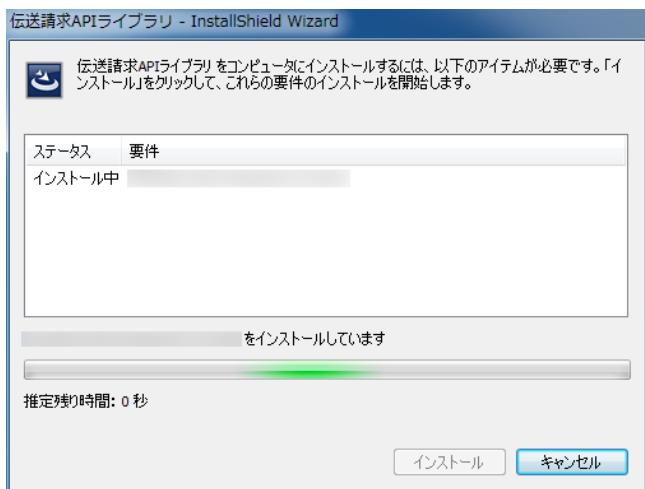
1. 電子請求受付システム 統合インストーラをダブルクリックして実行します。



2. 伝送請求APIライブラリのインストールウィザードが表示されるので、[インストール]ボタンをクリックしてください。

※ 必要なソフトウェアがすべてインストールされている場合、この画面は表示されないため、[手順 4.]に進んでください。

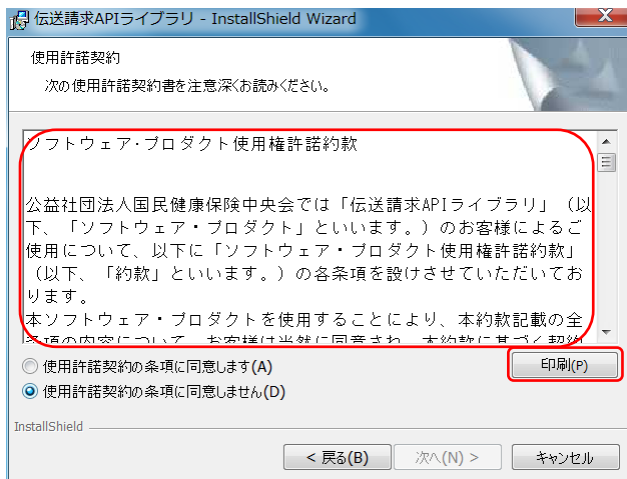
※ 必要なソフトウェアが一部インストールされている場合、インストール対象が画面イメージと異なることがあります。



3. インストール処理が完了するまでお待ちください。

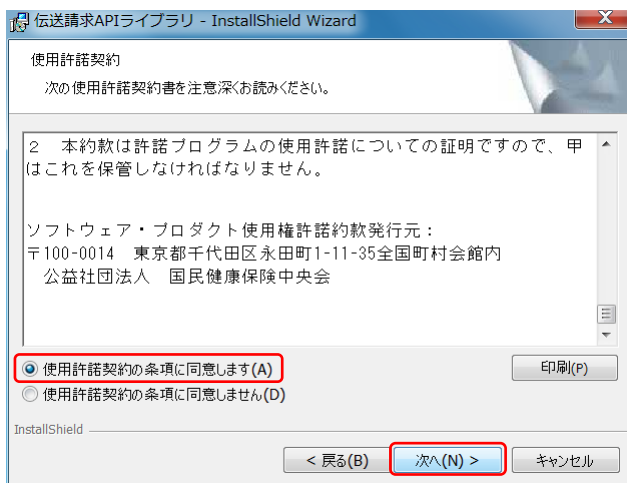


4. 画面のガイドに従ってインストールを行ってください。

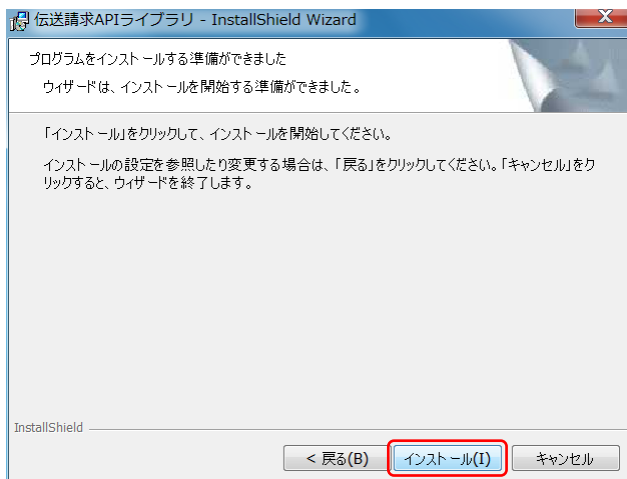


5. 使用許諾契約条項が表示されます。

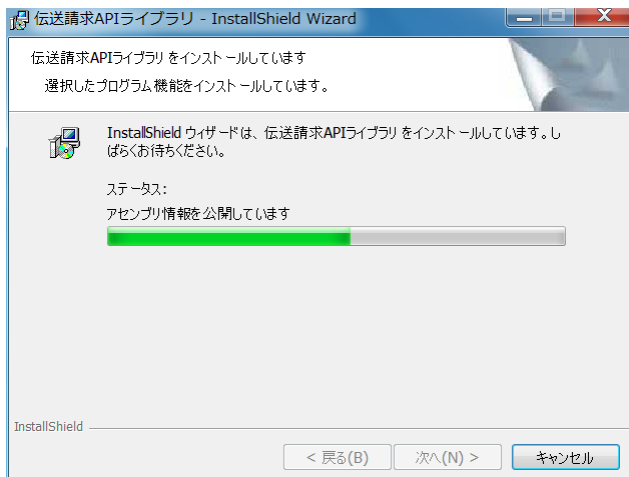
- ※ 必要に応じて、[印刷]ボタンより《ソフトウェア・プロダクト使用権許諾約款》欄の内容を印刷することができます。



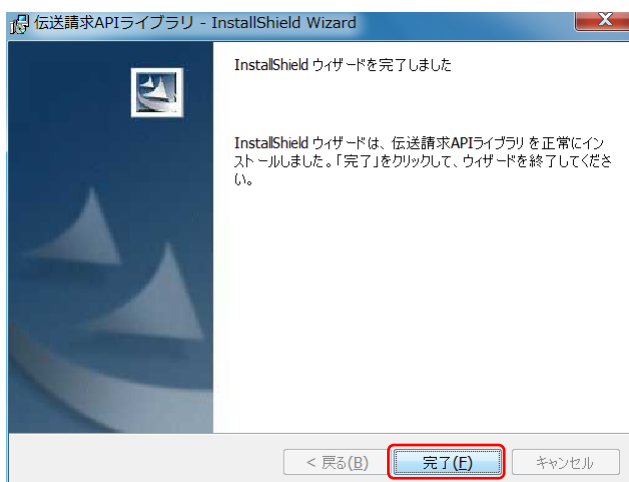
6. 使用許諾契約条項を確認の上、「使用許諾契約の条項に同意します」を選択し、[次へ]ボタンをクリックしてください。



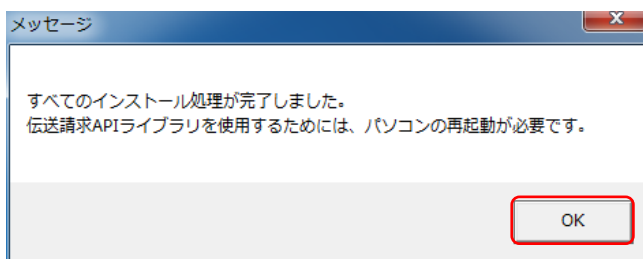
7. [インストール]ボタンをクリックしてください。



8. インストール処理が完了するまでお待ちください。



9. [完了]ボタンをクリックしてください。



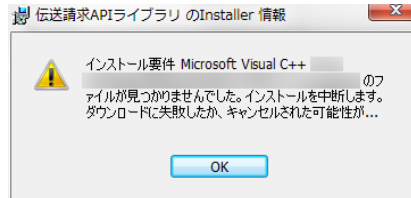
10. [OK]ボタンをクリックし、パソコンを再起動してください。

※ 「伝送請求APIライブラリを使用するためには、パソコンの再起動が必要です。」のメッセージが表示されない場合、パソコンの再起動は不要です。

インストール処理が途中でエラーになった場合について

1. インターネット接続がされていない

電子請求受付システム 統合インストーラの処理において、以下のメッセージが表示された場合、インターネット接続がされていない可能性があります。



電子請求受付システム 統合インストーラでは一部のソフトウェアをインターネットから取得しインストールを行うため、インターネット接続が必要となります。

インターネットへの接続確認後、電子請求受付システム 統合インストーラを実行してください。

2. ウイルス対策ソフトの機能により処理が中断されている

2-1 ご使用のウイルス対策ソフトがウイルスバスターの以下のエディションである場合

ウイルスバスター コーポレートエディション
ウイルスバスター ビジネスセキュリティ(Trend Micro ビジネスセキュリティ)

ウイルスバスターの設定画面より、[挙動監視]機能の設定状態を確認してください。

[挙動監視]機能が有効にされていた場合は、一時的に無効に変更してください。

設定の変更後、電子請求受付システム 統合インストーラを実行してください。

インストールの完了後、[挙動監視]機能を有効にしてください。

2-2 ウイルスバスター以外のウイルス対策ソフトを使用している場合

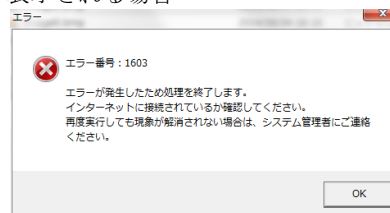
「コンピュータを監視し、不正な変更が行われぬよう保護する」等の機能が存在する場合、該当機能を一時的に無効に変更してください。

設定の変更後、電子請求受付システム 統合インストーラを実行してください。

インストールの完了後、該当機能を有効にしてください。

2-3 2-1,2-2 の対策を行ってもインストーラの処理が中断される場合、

または以下のメッセージが表示される場合



以下のいずれかの対策を実施してください。

対策 1

ウイルス対策ソフトを一時的に無効化してください。

設定の変更後、電子請求受付システム 統合インストーラを実行してください。

インストールの完了後、ウイルス対策ソフトを有効にしてください。

対策 2

対策 1 を実施できない場合、電子請求受付システム 統合インストーラによってインストールするソフトウェアの一部をインターネットより取得してください。

【プログラムと機能】画面等より、該当のソフトウェアがインストールされているか確認し、必要なソフトウェアのインストールを行ってください。

個別にインストールを行った後、電子請求受付システム 統合インストーラを実行してください。

個別にインストールを行うソフトウェアについて

①	<p style="text-align: center;">【対象ソフトウェア】</p> <p>(1) Microsoft .NET Framework 4.6.2</p> <hr/> <p style="text-align: center;">【取得 URL(1)】</p> <p>http://go.microsoft.com/fwlink/?linkid=780597</p>	<p>左記(1) (Microsoft .Net Framework 4.6.2) がインストールされていない場合には、左記の【取得 URL(1)】よりインストーラを取得し、インストールを行ってください。</p> <p>【Microsoft .Net Framework 4.6.2 の確認方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象 OS が Microsoft Windows 8.1 の場合 【プログラムと機能】画面には表示されません。Microsoft .NET Framework 4.6.2 以上がインストールされているか確認する場合、[P7 Windows 8.1 の場合]を参照してください。 ・対象 OS が Microsoft Windows 10、または Microsoft Windows 11 の場合 【プログラムと機能】画面には表示されませんが、OS に付随して Microsoft .Net Framework 4.6.2 以上がインストールされているため、Microsoft .Net Framework 4.6.2 のインストールを行う必要はありません。
②	<p style="text-align: center;">【対象ソフトウェア】</p> <p>(2) Microsoft Visual C++ 2015-2022 Redistributable(x86) 14.31.31103</p> <hr/> <p style="text-align: center;">【取得 URL(2)】</p> <p>https://aka.ms/vs/17/release/vc_redist.x86.exe</p>	<p>左記(2) (Microsoft Visual C++ 2015-2022 Redistributable(x86)) がインストールされていない場合には、左記の【取得 URL(2)】よりインストーラを取得し、インストールを行ってください。</p> <p>【Microsoft Visual C++ 2015-2022 Redistributable(x86)の確認方法】</p> <p>下図を参考に、【プログラムと機能】画面にて一覧に表示されているか確認してください。</p>
③	<p style="text-align: center;">【対象ソフトウェア】</p> <p>(3) Microsoft Edge WebView2 Runtime</p> <hr/> <p style="text-align: center;">【取得 URL(2)】</p> <p>https://go.microsoft.com/fwlink/p/?LinkId=2124703</p>	<p>左記(3) (Microsoft Edge WebView2 Runtime) がインストールされていない場合には、左記の【取得 URL(3)】よりインストーラを取得し、インストールを行ってください。</p> <p>【Microsoft Edge WebView2 Runtime の確認方法】</p> <p>下図を参考に、【プログラムと機能】画面にて一覧に表示されているか確認してください。</p>

【プログラムと機能】画面 ※下図は Windows 10 の画面です。





Windows 8.1の場合

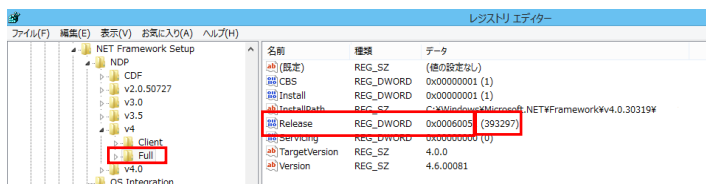
Microsoft .NET Framework 4.6.2 以上 がインストールされているか確認する手順について説明します。
この手順は、管理者権限のあるアカウントで行ってください。



1. 画面右上にカーソルをあわせ、チャームバーを表示し、[検索]をクリックします。



2. [regedit]と検索し、《検索結果》欄の [regedit]をクリックします。



3. レジストリエディターが起動するので、左側のメニューより以下のサブキーを表示します。
HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Microsoft\NET Framework Setup\NDP\v4\Full

右側に表示される[Release]の《データ》欄を確認します。括弧内の値が **394806 以上**であれば.NET Framework 4.6.2 以上 がインストールされています。

3. アンインストール手順

アンインストールを行う場合、下記ソフトウェアのアンインストールを個別に実行する必要があります。

- ・ 伝送請求 API ライブラリ
- ・ 署名・復号ツール（介護）
- ・ Microsoft Visual C++ 2015-2022 Redistributable(x86) (※1)
- ・ Microsoft .NET Framework 4.6.2 (※1)(※2)
- ・ Microsoft Edge WebView2 Runtime (※1)

※1 伝送請求 API ライブラリ以外のアプリケーションが該当のソフトウェアを使用している場合があるため、使用状況が不明な場合はアンインストールしないでください。

※2 対象 OS が Microsoft Windows 10、または Microsoft Windows 11 の場合、Microsoft .NET Framework 4.6.2 以上が標準でインストールされているため、アンインストールすることはできません。

対象 OS が Microsoft Windows 8.1 の場合、【プログラムと機能】画面を表示したあと、《インストールされた更新プログラムを表示》をクリックし、表示された一覧より [Microsoft Windows (KB3151864)の更新プログラム]をアンインストールしてください。

アンインストールは通常のアプリケーションと同様に【プログラムと機能】画面から行ってください。

※下記は Windows 10 の場合の画面イメージです。

